

## アメリカのパッキングプラントでの繋留中の事故率(20年間の集計)

アメリカ農務省の報告によれば、パッキングプラント内で何らかの理由により死亡した豚は、2010年度の集計で0.17%だったそうです。年間1億900万頭の豚がと畜されているので計算上は185,300頭にもなります。繋留中事故率はピークの時は1998年の0.3%ですから、ちょうどPRRS等が盛んに発症していた頃と重なります。したがって近年はかなり改善が進んだと見るのが妥当でしょうが、それでも凄まじい数字です。搬入される生体重の平均は122kgとますます大きくなっていることも関連があるかもしれませんが、最も事故の多い月は7月と8月で0.2~0.25%ということです。

(Hog Handling Update, Dr. M.Ritter , Oct. 2011)

2011年11月 グローバルピッグファーム(株)